

きんぎ



2019年10月
第108号

発行：広報委員会
病院長：有田憲生

〒664-8533
兵庫県伊丹市車塚3-1

☎072-781-3712

- HOT TOPICS：がんの治療と仕事の両立支援
- スタッフ紹介：楠 呼吸器外科部長／ジブラルタル海峡
- 冬の感染症対策 ～面会制限にご協力ください～
- 伊丹たかの小児科を紹介します！



近畿中央病院広報誌



冬の感染症対策

～面会制限にご協力をお願いします～



感染管理認定看護師
上野 一枝

感染症の季節

もうすぐ、インフルエンザとノロウイルスが猛威を振るう季節です。インフルエンザは飛沫感染と接触感染の2つの経路を持ち、ノロウイルスは接触感染が主な経路となってヒトに感染します。

手洗いが大事

感染経路を断ち切ってしまうば、インフルエンザやノロウイルスに感染する頻度は減らすことができます。そこで重要なのが手洗いです。水やお湯で軽くすすぐだけでは不十分なので、良く泡立てた石けんを使って20秒～30秒はこすり洗いをして下さい。手のひらばかり洗うのではなく、洗い残しの多い部分は特に注意が必要です。

面会制限

インフルエンザやノロウイルスによる院内感染を防ぐために、当院では入院患者への面会制限を実施します。12月1日よりご家族以外の面会のご遠慮下さい。また、インフルエンザ流行期では、ご家族の中でも患者さまの身の回りのお世話をされる方以外の面会のご遠慮下さい。面会受付時に健康チェックを受けていただきますが、その際に、発熱や嘔吐・下痢、発疹など感染症を疑う症状のある方の面会はお断りいたします。

入院患者への院内感染を予防するために、面会制限へのご理解とご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

洗い残しが多い部位



親指のまわり、爪と指先、指の間は特に洗い残しが多い

感染経路



飛沫感染のしぶきは1～2m飛びますのでマスクを着用して下さい

面会制限時の対応

面会者：健康なご家族のみ（小学生以下は面会できません、急な面会が必要な場合は主治医か看護師長にご相談ください）

面会時間：10分以内

その他：マスク着用、手指のアルコール消毒（マスクをお持ちでない場合は、マスク自動販売機か院内のコンビニエンスストアで購入してください）



竹森 美穂

MSW：メディカル
ソーシャルワーカー

がん 相談支援

問合せ先

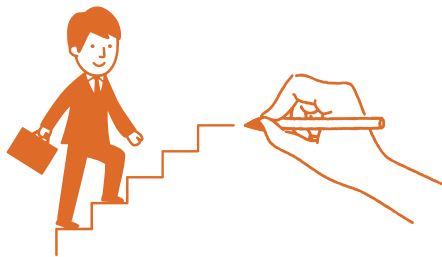
がん相談支援センター

畿中央病院1階
地域医療福祉センター内

：30～17：15（年末年始、
日休日を除く）

談方法：電話・面談（面
での相談をご希望される
場合は、予め電話でご予約
いただくことをお勧めしま
す）

072-781-3712（代表）



地域がん診療連携拠点病院とし

がんの治療と



● **がんになっても働き続ける** 病院というと、「検査をするところ、治療をするところ」といったイメージを持っていないでしょうか。しかし、近年、がん患者に対する支援は国を挙げての政策になっており、がんに関する総合的な法律である、「がん対策基本法」には、がんになっても働き続けることができるような社会を創っていくことが謳われています。

これに伴って、がん診療連携拠点病院では、がんになっても人々が働き続けることを支援する体制を整備することが求められています。

● **治療と仕事の両立支援** 医療技術の進歩は、がん治療を入院から外来へとシフトさせていくことに成功しましたが、一方で、がん罹患した勤務者の約35%が依願退職・解雇となり、自営業者の約17%が廃業しているという調査報告もなされており（静岡県立静岡がんセンター 2013年 がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書）、仕事を持ちながら治療・療養を行うことの難しい実態が浮き彫りになっています。

このような実態への対応や政策の後押しもあり、がん診療連携拠点病院では、社会保険労務士やハローワーク、産業保健総合支援センターなどとの協働が進んでいます。

当院でも、相談対応を行う看護師や医療ソーシャルワーカー、事務職員等を対象として、実際に医療機関等で就労支援を行っている社会保険労務士を講師に招いて勉強会を開くといった取り組みを行っています。

仕事の両立支援を行っています



●がん相談支援センターを活用してください

「働く」ということは、日々の生活の糧を得ることに他なりません。自分自身の生き方や価値観が大きく反映される営みです。

当院での取り組みはまだまだ十分とは言えませんが、今後も患者さまが仕事と治療を両立できるような支援に取り組んでいきたいと考えています。治療と仕事の両立に当たり、職場にどのように伝えたらよいのだろうか、仕事を辞めて治療に専念したほうが良いのか、同僚に迷惑をかけるのではないだろうか、様々な不安があると思います。がん相談支援センターでは、仕事と治療の両立に関するご不安についてお話をうかがっています。

また、必要に応じて各種制度の紹介や、関係機関と連携していきます。一旦仕事を辞めたけれど仕事を再開したいと考えている方には、ハローワークと連携して支援しています。一人で悩まずに、がん相談支援センターを活用ください。

がんになっても働き続けられる社会へ



がん相談支援センター

場所：近畿中央病院1階
地域医療福祉センター内

開室時間：8：30～17：15（年末年始、土日祝日を除く）

相談方法：電話・面談（面談での相談をご希望される場合は、予めお電話でご予約いただくことをお勧めします）



近中スタッフ紹介

このコーナーでは、近中スタッフの多彩な側面を紹介しています。

ジブラルタル海峡からアフリカ大陸を見る！

楠 貴志 呼吸器外科部長

ジブラルタル海峡を知っていますか？

ジブラルタル海峡はイベリア半島のほぼ南端にあり、対岸のモロッコに挟まれたこの海峡の幅は14kmしかありません。海峡に面した約7km²の土地はなんとイギリス領になっていて、スペインからジブラルタルに入るにはパスポートが要りますし、通貨もジブラルタルポンドが使われています。

ジブラルタルにはやや小ぶりな山があります。アラブ人がヨーロッパに渡った時に置いていったサルの子孫が住んでいて、箕面のサルのように走り回っています。洞窟もあるのですがライトアップされていて、やや興ざめでした。観光ツアーに申し込めば、3時間程でこれらの名所を案内してくれますが、なんといっても一番の見どころは、ヨーロッパ大陸からみるアフリカ大陸でしょう！大西洋と地中海そしてヨーロッパとアフリカを隔てる地に立つ壮大さを味わうことができます。



📍ジブラルタルの位置



📍ヨーロッパ大陸からアフリカ大陸を望む：地中海の向こう、左の陸影がモロッコです



📍サルの棲む小山

📍山中の洞窟





近中ねっとなわーく

近中では、地域の医療機関と機能や役割を分担しながら、患者さまに継続した医療を提供しています。このコーナーでは、当院と連携している医療機関をご紹介します。

伊丹たかの小児科

院長：高野 勉 先生

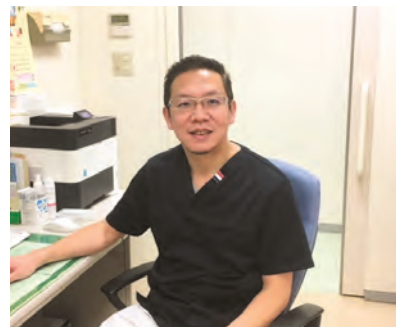
診療科 小児科・アレルギー科

〒664-0899 伊丹市大鹿4丁目59

☎ 072-767-6568

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前診	○	○	○	○	○	○	—
健診・予防接種	○	○	○	○	○	○	—
午後診	○	○	○	○	○	※	—

※土曜日のみ午後は13:00~16:00 土曜日午後は診察（予防接種は随時相談）



令和元年6月に伊丹市大鹿4丁目でオープンしました伊丹たかの小児科の高野勉です。ふたご座A型、3男1女の父です。好きな食べ物は八宝菜とからあげです。

当院の理念は「お子さんとあなたを笑顔にします」です。大切なお子さんのつらいお熱や咳、吐き気、ぜんそく、アトピー性皮膚炎のお悩みなどなんでもご相談ください。ご家族の生活背景にまで配慮した診療計画をたて、お子さんだけでなくご家族皆さんが笑顔になれるような診療を心がけています。「あそこに入ったらなんだかホッとする」そんなクリニックでありたいと思っています。

平日は全て19時まで、土曜も16時まで診療していますのでお子さんが心配な時はいつでもご来院ください。